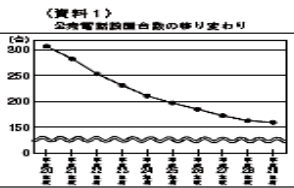


1 高橋さんの学校では、生活の中心になったことを調べ、友達に報告することにしました。高橋さんは、公共電話について調べています。次は、高橋さんが書いた「報告する文章」です。これより読んで、あと2問に答えます。



1 目的に
公共電話は、生活の中心になったことを調べ、友達に報告することにしました。高橋さんは、公共電話について調べています。次は、高橋さんが書いた「報告する文章」です。これより読んで、あと2問に答えます。



2 調査の内容と結果
(1) 公共電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。
(2) 公共電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。



Table with 2 columns: Location and Number of people. Data includes 'Public phone' (22), 'Hospital' (12), 'School' (5), 'Station' (4), 'Other' (5).

3 調査の結果をどうに考えたか
高橋さんは、「報告する文章」で「資料2」と「資料3」を、それぞれどのような目的で用いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 現在と過去の様子や並べて示し、二つのちがいを伝えるため。
2 内容ごとに分類して示し、大まかな持ちようを伝えるため。
3 年度ごとの数値をグラフで示し、移り変わりを伝えるため。
4 記号や印などを使って示し、実際の位置を伝えるため。
5 説明したい場所やものも写真で示し、実際の様子を伝えるため。

【出題の趣旨】
図表やグラフなどを用いた目的を捉えることができるかどうかをみる。

【正答】
資料2 2 資料3 4

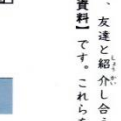
【予想される誤答例】
資料と文章の内容をつなげることができていない。資料を用いる目的を捉えることができていない。

【指導のポイント】
自分で調査したことをまとめ、報告する文章を書く場合には、報告する目的や意図に応じた図表やグラフを用いて相手に分かりやすく伝えていく文章にする必要がある。

文章と図表やグラフを結びつけ、必要な情報を見つけたら「読むこと」の指導と関連させて指導し、図表やグラフを用いる目的を捉えることができるようにすることが大切である。

【過去の類似問題】 全国学力・学習状況調査 平成二十八年年度 B 2

2 宮原さんの学校では、身近な食べ物について疑問に思ったことを調べ、友達と紹介しようことにしました。次は、宮原さんの「フートの一部」と宮原さんが選んだ「資料」です。これらをよく読んで、あと2問に答えます。



フートの一部
食べ物の保存について
食べ物の保存について書かれた本のページ
◆ 食べ物は生命の源
生き物は、食べ物がなければ生きていくことができません。食べ物を安定して確保することは、生きる上で欠かせないことです。

疑問に思ったこと
① なぜ食べ物を塩漬けにしたり干したりすると保存できるのか。
② なぜお肉は、食べ物を保存する方法を考えなければならなかったのか。

1 水分が多くなり、食べ物がかさりやすくなるから。
2 細菌が増え、水分を蒸発させることができるから。
3 水分が少なくなり、細菌が増えにくくなるから。
4 細菌が減り、水分を増やすことができるから。

【出題の趣旨】
目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくことができるかどうかをみる。

【正答】
3

【予想される誤答例】
複数の主語、主語の入れ替わりがあるため、文章の内容を的確に捉えることができていない。
問いと答えの関係を捉えることができていない。

【指導のポイント】
文章の内容を的確に捉えるためには、主語と述語、修飾と被修飾との関係、指示語、接続語について低学年のうちから、系統性を大切にしながら確実に理解できるようにする必要があります。

問いと答えの関係を捉えるには、文章全体の構成をもとに筆者の伝えたいことを正確に理解できるようにすることが大切である。

【過去の類似問題】 全国学力・学習状況調査 平成二十七年年度 A 5

平成二十八年年度 B 3

【過去の類似問題】 全国学力・学習状況調査 平成二十七年年度 A 5 平成二十八年年度 B 3

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく読むことが出来るかどうかをみる。

《問題》宮原さんは食べ物の保存について、なぜ昔の人が食べ物を保存する方法を考えなければならなかったのか「ノートの一部」の□を書きことになりました。そこで「食べ物の保存について書かれた本のページ」を見て、くわしく書こうとしています。□に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

- 〈条件〉
- 疑問に思ったこと
- 【資料】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。

食べ物の保存について

調べようと思つたこと

春休みに、祖母から梅干しをもらったが、それが十年前に作られたものだど知りおろした。十年もたつのになぜ食べられるのかと聞く。塩づけにしたり干したりしているからだと。昔の人はくふうして食べ物を保存してきたのだと、祖母は教えてくれた。

疑問に思ったこと

- ① なぜ食べ物を塩づけにしたり干したりすると保存できるのか。
- ② なぜ昔の人は、食べ物を保存する方法を考えなければならなかったのか。

調べて分かったこと

- ① 食べ物を塩づけにしたり干したりすると保存できる理由は、
- ② 昔の人が食べ物を保存する方法を考えなければならなかった理由は、

食べ物を保存する

◆ 食べ物は生命の源

生き物は、食べ物がなければ生きていくことができません。食べ物を安定して確保することは、生きる上で欠かせないことです。

例えば、リスは秋になるとドングリを土にうめ、食料をたくわえます。クマはたくさん食べ物を食べ、体に栄養をたくわえて冬眠に入ります。動物たちは、このようにして生きぬいているのです。

わたしたち人間は、食べ物を保存する技術がなかったころは、いつでもおなかを満たすことができるというわけではありませんでした。季節や天候などにより、農作物や肉、魚などが手に入らないことがあったからです。また、運ぶ大量の食べ物が手に入ったとしても、そのままにしておくと、くさって食べられなくなってしまうこともあり。そのため、人々は昔から様々な方法で食べ物の保存を試みてきました。失敗をくり返しながらいよいよ保存方法を獲得し、次の世代へつないできたのです。

◆ 保存のふしぎ

食べ物がくさる主な原因は、食べ物をくさらせる細菌が増えることです。その細菌は食べ物の水分を利用して増えます。そのため、水分が少なくなれば細菌は増えにくくなり、食べ物はくさりにくくなります。

では、水分を少なくするにはどのようにしたらよいのでしょうか。例えば、塩や砂糖を使うという方法があります。塩や砂糖には水分を吸い出すはたらきがあるので、塩や砂糖を使ってつけることで水分を少なくすることができるのです。また、かんそうさせるという方法もあります。日光や風に当てて干すことで、水分を蒸発させることができます。

これらの方法を使った保存食には次のようなものがあります。

塩を使う	砂糖を使う	かんそうさせる
・山菜の塩づけ	・果物の砂糖づけ	・切り干し大根
・豚肉の塩づけ	・ジャム	・かんぴょう
・魚の塩づけ		

- 「予想される誤答の原因」
- 目的「何」の理由の判断ができない。
- 読み取った内容を自分で再構成して書けない。
- 文末表現や接続語に着目していない。

授業場面で(目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、要旨を自分の言葉で再構成して書く授業)

「ノートの一部」の□には、何が入るでしょう。

①には、「水分が少なくなり、細菌が増えにくくなるから。」が入ります。

なぜ、そう考えたのですか。

何を聞いているのかをはっきりさせて、主語と述語の関係から文章を整理すると分かりました。

では、②には何が入るかな。

《ポイント》
文の目的を明確にして、着目しなければならぬ主語や述語、大切な言葉を考えさせる。

調べて分かったこと②の□について、「食べ物の保存について書かれた本のページ」からくわしく書きましょう。

Aの文章は保存する理由になっているね。

Bの文章は、食べ物を保存する方法を考えなければならぬ理由になっているね。

AとB(目的の適否)の文を比較して、どちらがよいか、話し合みましょう。

《ポイント》
理由となる文になるように、条件に合わせて要旨をまとめながら書かせるようにする。

②の答えになるように、四十字以上七十字以内にまとめて書きましょう。

「ノートの一部」の②には、何が入りますか。

②には、「季節や天候により、食べ物が手に入らないことや、手に入ったとしても、そのままにしておく、くさって食べられなくなってしまう」ともあったからが入ります。また、何を聞いているかははっきりさせると、大切な言葉もはっきりして自分の言葉でまとめることができます。よかったです。

《ポイント》
目的に応じて要旨をまとめるためには、目的を明確にし、内容を的確に押さえなければよいことを捉えさせる。

終末

展開

導入

友だちに紹介しよう。

めあて

「ノートの一部」の□に何が入るかを考えよう。

①食べ物を保存できる理由【水分が少なくなり、細菌が増えにくくなるから。】

聞いていること、主語・述語を整理する。

【資料】食べ物の保存について書かれた本のページ

食べ物を保存する

◆ 食べ物は生命の源

生き物は、食べ物がなければ生きていくことができません。食べ物を安定して確保することは、生きる上で欠かせないことです。

例えば、リスは秋になるとドングリを土にうめ、食料をたくわえます。クマはたくさん食べ物を食べ、体に栄養をたくわえて冬眠に入ります。動物たちは、このようにして生きぬいているのです。

わたしたち人間は、食べ物を保存する技術がなかったころは、いつでもおなかを満たすことができるというわけではありませんでした。季節や天候などにより、農作物や肉、魚などが手に入らないことがあったからです。また、運ぶ大量の食べ物が手に入ったとしても、そのままにしておくと、くさって食べられなくなってしまうこともあり。そのため、人々は昔から様々な方法で食べ物の保存を試みてきました。失敗をくり返しながらいよいよ保存方法を獲得し、次の世代へつないできたのです。

◆ 保存のふしぎ

食べ物がくさる主な原因は、食べ物をくさらせる細菌が増えることです。その細菌は食べ物の水分を利用して増えます。そのため、水分が少なくなれば細菌は増えにくくなり、食べ物はくさりにくくなります。

では、水分を少なくするにはどのようにしたらよいのでしょうか。例えば、塩や砂糖を使うという方法があります。塩や砂糖には水分を吸い出すはたらきがあるので、塩や砂糖を使ってつけることで水分を少なくすることができるのです。また、かんそうさせるという方法もあります。日光や風に当てて干すことで、水分を蒸発させることができます。

これらの方法を使った保存食には次のようなものがあります。

塩を使う	砂糖を使う	かんそうさせる
・山菜の塩づけ	・果物の砂糖づけ	・切り干し大根
・豚肉の塩づけ	・ジャム	・かんぴょう
・魚の塩づけ		

食べ物を保存する理由

聞いていること、主語・述語、大切な言葉を整理する。

②食べ物を保存する方法を考えなければならなかった理由【

条件

○疑問に思ったこと

○【資料】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。

○何を聞いているかははっきりさせる。

まとめ

②には、「季節や天候により、食べ物が手に入らないことや、手に入ったとしても、そのままにしておく、くさって食べられなくなってしまう」ともあったからが入る。